

教育職員免許法施行規則第 22 条の 6 に規定する情報公開

【第 1 号関係】

教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること。

・教職課程の目的

本学は、建学の精神に基づき、「教育を生活の中に活かせ」「高い教養と正しい躰を身につけよ」「常に希望をいだき時代と共に歩め」とあるように、子どもの豊かな発達と人間形成に必要な幅広い専門的知識・方法等に関わる事項に貢献できる人材育成を目標としている。

教職課程を設け、日本の将来を担う教育者としての高い資質が求められ、社会的な要請の変化に対応できる応用力を有した教員を養成する。

各教職課程においての計画概要については、下記の URL から参照することができる。

幼稚園教職課程 <https://univ.shibata.ac.jp/faculty/child-development/kindergarden/>

小学校教職課程 <https://univ.shibata.ac.jp/faculty/child-development/elementary/>

中高教職課程（家庭） <https://univ.shibata.ac.jp/faculty/healthy-nutrition/teacher/>

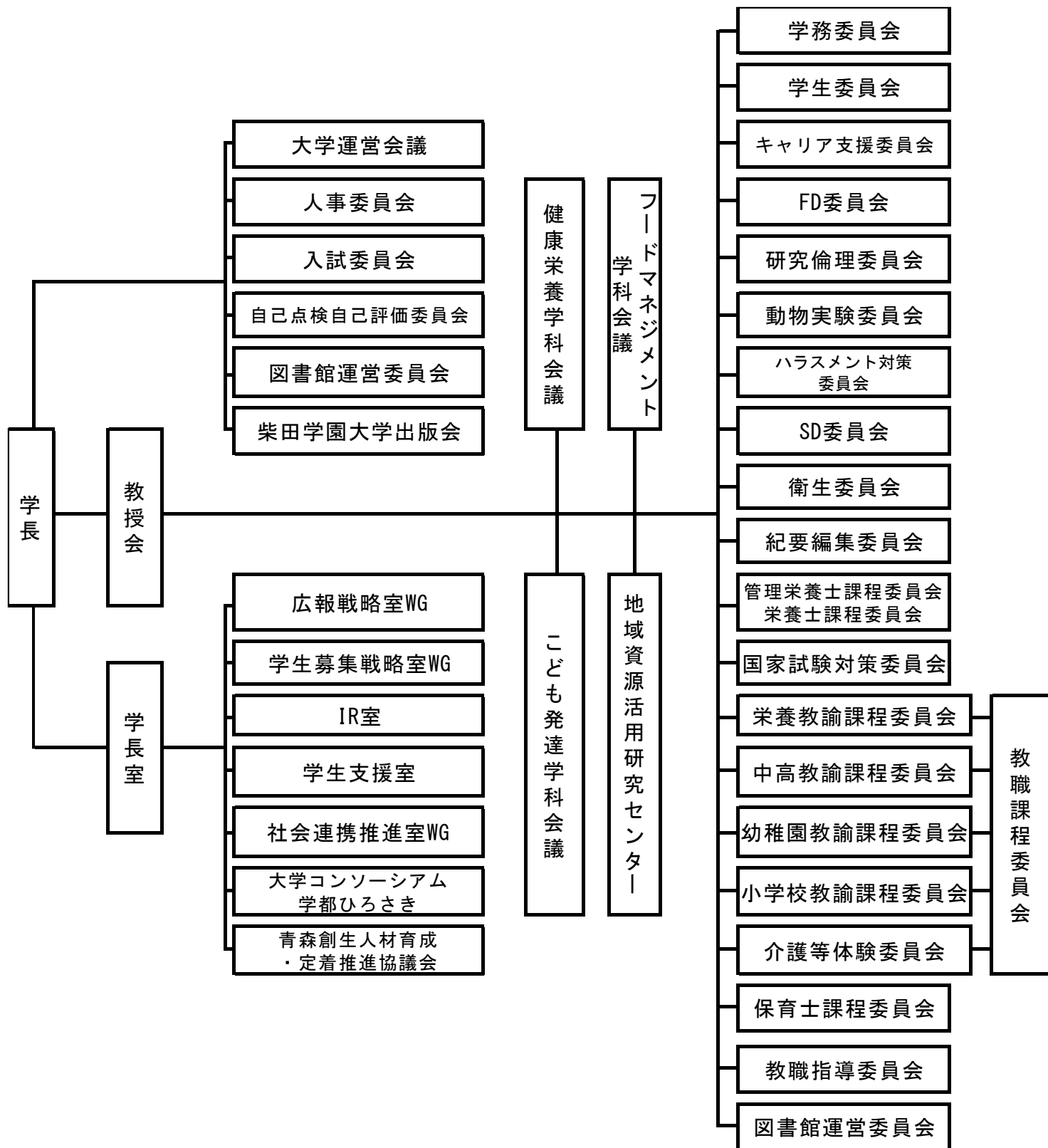
栄養教諭課程 <https://univ.shibata.ac.jp/faculty/healthy-nutrition/nutrition-teacher/>

【第2号関係】

教育の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関すること。

【第3号関係】

教員の養成に係る授業科目、授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関すること。



※各教員の学位及び業績等については

<https://univ.shibata.ac.jp/about/professor/> をご参照ください。

教職課程科目

健康栄養学科 中学校・高等学校教諭一種免許状課程(2026年度入学生適用)

免許法施行規則に定める科目区分等		授業科目	単位数	配当年次	高等学校家庭免許取得の場合の必修科目	中学校家庭免許取得の場合の必修科目	専任教員 氏名・職名	備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項							
教科及び教科の指導法に関する事項	家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。)	家庭経営学Ⅰ	2	2	前	○	工藤寧子准教授 (工藤寧子准教授)	
		家庭経営学Ⅱ	2	2	後	○		
	被服学(被服実習を含む。)	被服学	2	1	前	○	(工藤寧子准教授)	
		被服立体構成実習	1	2	前	○		
		被服平面構成実習	1	2	前	○		
		被服材料学	2	2	前	○		
		被服学実験	1	2	後	○		
		アパレルCAD実習	1	1	後	○		
	食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。)	食品学	2	2	前	○	富田雅弘教授 (富田雅弘教授) 山田和歌子助教 (山田和歌子助教) 奥野海良人准教授	いずれか1科目選択必修
		食物学	2	1	後	○		
食品健康科学		2	1	後	○			
食品科学		2	3	後	○			
基礎調理学実習		1	1	後	○			
調理の基礎実習		1	1	前	○			
基礎栄養学		2	1	前	○			
栄養教育論	2	1	後	○				
住居学	住居学	2	1	前	○			
保育学	保育学Ⅰ 保育学Ⅱ	2 2	2 3	後 前	○ ○			
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	家庭科教育法Ⅰ	2	2	前	※1	○	葛西美樹教授 (葛西美樹教授)	
	家庭科教育法Ⅱ	2	2	後	○	○		
	家庭科教育法Ⅲ	2	3	前	○	○		
	家庭科教育法Ⅳ	2	3	後	○	○		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2	1	前	○	齋藤雅俊教授	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職の理解	2	2	前	○	(齋藤雅俊教授) (小林琢哉教授) (新田史暁助教)	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政	2	3	前	○		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	2	後	○	小林琢哉教授	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	2	3	後	○		
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2	2	前	○		
法道徳、及び生徒指導、総合的な学習の指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の指導法	2	2	後	※1	○	(齋藤雅俊教授)
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	2	3	前	○	○	
	特別活動の指導法	特別活動の指導法	2	3	後	○	○	
	教育の方法及び技術	教育方法・技術(情報通信技術の活用を含む)	2	2	後	○	○	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法							
	生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導	2	3	後	○	○	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法							
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談	2	3	前	○	○	新田史暁助教	
教育実践に関する科目	教育実習	事前事後指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ	1 4 2	3 4 4	後 前 前	○ ○ ○		高免のみ
	学校体験活動							
	教職実践演習	教職実践演習	2	4	後	○	○	(齋藤雅俊教授) (小林琢哉教授) (新田史暁助教)
免許法施行規則に定める科目	日本国憲法	日本国憲法	2	1	後	○	○	
	体育	体育Ⅰ	1	1	前	○	○	
		体育Ⅱ	1	1	後	○	○	
	外国語コミュニケーション	英語BⅠ	1	1	前	○	○	
英語BⅡ		1	1	後	○	○		
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシーⅠ	1	1	前	○	○		
	情報リテラシーⅡ	1	1	後	○	○		

※1 大学が独自に設定する科目

教職課程科目

健康栄養学科 栄養教諭一種免許状課程(2026年度入学生適用)

免許法施行規則に定める科目区分等									
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数		配当年次	栄養教諭免許状取得の場合の必修科目	専任教員 氏名・職名	備考	
			卒 必	選 択					
栄養に係る教育に関する科目	栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	学校栄養教育論		2	3	前	○	前田朝美教授	
	食に関する指導の方法に関する事項								
	幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項	健康・食生活論		2	2	前	○		
	食生活に関する歴史的及び文化的事項								
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理		2	2	前	○	齋藤雅俊教授	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職の理解		2	1	前	○	(齋藤雅俊教授) (小林琢哉教授) (新田史暁助教)	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政		2	3	前	○		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学		2	2	後	○	小林琢哉教授	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論		2	3	後	○		
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論		2	2	前	○		
道徳、総合的な学習の時間及び生徒指導、教育相談に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	道徳教育の指導法		2	2	後	○	(齋藤雅俊教授)	
		総合的な学習の時間の指導法		2	3	前	○		
		特別活動の指導法		2	3	後	○		
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法・技術(情報通信技術の活用を含む)		2	2	後	○		
	生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導		2	3	後	○		
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	教育相談		2	3	前	○	新田史暁助教		
に教育実践する科目	栄養教育実習	栄養教育実習(事前事後指導を含む。)		2	3・4	後・前	○		
	学校体験活動								
	教職実践演習	教職実践演習(栄養教諭)		2	4	後	○	(齋藤雅俊教授) (小林琢哉教授) (新田史暁助教)	
免許法施行規則に定める科目	日本国憲法	日本国憲法		2	1	後	○		
	体育	体育Ⅰ	1	1	前	○			
		体育Ⅱ	1	1	後	○			
	外国語コミュニケーション	英語ⅡⅠ	1	1	前	○			
英語ⅡⅡ		1	1	後	○				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシーⅠ	1	1	前	○				
	情報リテラシーⅡ	1	1	後	○				

教職課程科目

こども発達学科 小学校教諭一種免許状課程(2026年度入学生適用)

施行規則に定める科目区分等											
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数		配当 年次	小学校 免許状 取得の 場合の 必修科 目	専任教員 氏名・職名	履修 方法			
			卒 必	選 択							
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語 (書写を含む。)	国語Ⅰ	1	2	前	○				
			国語Ⅱ	1	2	後	○				
		社会	社会	1	2	前	○				
		算数	算数	1	3	前	○	齋藤昭准教授			
		理科	理科	1	3	前	○				
		生活	生活	1	1	後	○				
		音楽	音楽Ⅰ	1	1	前	○	一戸智之教授 諏訪才子講師 (一戸智之教授) (諏訪才子講師)			
			音楽Ⅱ	1	1	後	○				
			図画工作	図画工作A	1	2	前	○			
				図画工作B	1	2	後	○			
	家庭	家庭	1	2	後	○					
	体育	小学体育A	1	2	前	○					
		小学体育B	1	2	後	○					
	外国語	小学英語	1	3	前	○	杉本久美子教授				
	各教科の指導法の活用を含む(情報通信技術)	国語 (書写を含む。)	国語科教育法	2	3	前	○	澤村美千代准教授			
		社会	社会科教育法	2	3	前	○				
		算数	算数科教育法	2	3	後	○				
		理科	理科教育法	2	3	後	○				
		生活	生活科教育法	2	2	前	○				
		音楽	音楽科教育法	2	3	後	○				
図画工作		図画工作科教育法	2	3	後	○					
家庭		家庭科教育法Ⅰ	2	3	前	○					
体育		体育科教育法	2	3	前	○					
	外国語	外国語(英語)教育法	2	3	後	○					
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目											
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2	1	前	○	齋藤雅俊教授				
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職の理解	2	1	前	○	(齋藤雅俊教授) (小林琢哉教授) (新田史暁助教)				
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政	2	3	前	○					
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	1	後	○	小林琢哉教授				
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	2	3	後	○					
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2	2	前	○					
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の指導法	2	2	後	○	(齋藤雅俊教授)				
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	2	3	前	○					
	特別活動の指導法	特別活動の指導法	2	3	後	○					
	教育の方法及び技術	教育方法・技術(情報通信技術の活用を含む)	2	2	後	○					
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法										
	生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導	2	3	後	○					
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法										
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談	2	3	前	○	新田史暁助教					
教育実践に関する科目	教育実習	事前事後指導 教育実習Ⅰ	1 4	4 4	前 前	○ ○					
	学校体験活動	学校教育体験実習Ⅰ(小) 学校教育体験実習Ⅱ(小)	1 1	4 4	前 後	○ ○					
	教職実践演習	教職実践演習	2	4	後	○	(齋藤雅俊教授) (小林琢哉教授) (新田史暁助教)				
免許法施行規則に定める科目	日本国憲法	日本国憲法	2	1	後	○					
	体育	体育Ⅰ 体育Ⅱ	1 1	1 1	前 後	○ ○					
	外国語コミュニケーション	英語BⅠ 英語BⅡ	1 1	1 1	前 後	○ ○					
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ	1 1	1 1	前 後	○ ○					

教職課程科目

こども発達学科 幼稚園教諭一種免許状課程(2026年度入学生適用)

施行規則に定める科目区分等											
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数		配当年次	幼稚園免許取得の場合必修科目	専任教員 氏名・職名	履修方法			
			卒	選							
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康	子どもの健康と安全	1	2	後	○	高橋正行教授			
		健康	子どもの保健	2	2	前	○	(高橋正行教授)			
		人間関係	子どもの人間関係	1	1	後	○	吉田裕美子准教授			
		環境	子どもの環境	1	2	前	○	(吉田裕美子准教授)			
	表現	表現	子どもの言葉	1	2	前	○				
			子どもの表現	1	2	後	○	諏訪才子講師			
			ピアノ表現Ⅰ	1	2	前	○	一戸智之教授			
	保育内容の指導法に関する科目	保育内容の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	子どもの運動あそびⅠ	1	2	前	○	(高橋正行教授)			
			子どもの運動あそびⅡ	1	2	後	○	(高橋正行教授)			
			子どもの食と栄養	2	3	後	○				
			子育て支援	1	3	後	○				
		保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	保育内容総論	2	2	前	○	安川由貴子教授			
			健康の指導法	2	3	前	○				
			人間関係の指導法	2	2	前	○				
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2		1	前	○	齋藤雅俊教授			
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職の理解	2	1	前	○	(齋藤雅俊教授) (小林琢哉教授) (新田史暁助教)				
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政	2	3	前	○					
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2		1	後	○	小林琢哉教授			
等徳、総合的な学習の時間、教育相談等に関する科目	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	2	3	後	○					
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2	2	前	○					
教育実践に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法・技術(情報通信技術の活用を含む)	2	2	後	○					
	幼児理解の理論及び方法	子どもの理解と援助	2	3	前	○	新田史暁助教				
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	教育相談	2	3	前	○	(新田史暁助教)				
免許法施行規則に定める科目	教育実習	事前事後指導(幼) 教育実習(幼)	1 4	3 3	前 前	○ ○					
	学校体験活動										
	教職実践演習	教職実践演習	2	4	後	○	(齋藤雅俊教授) (小林琢哉教授) (新田史暁助教)				
免許法施行規則に定める科目	日本国憲法	日本国憲法	2	1	後	○					
	体育	体育Ⅰ	1	1	前	○					
		体育Ⅱ	1	1	後	○					
	外国語コミュニケーション	英語BⅠ	1	1	前	○					
英語BⅡ		1	1	後	○						
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシーⅠ	1	1	前	○						
	情報リテラシーⅡ	1	1	後	○						

【第4号関係】

卒業者の教員免許状の取得の状況に関すること。

令和7年度 教員免許取得者（校種別）

学科・専攻等名	卒業者の数	免許状取得者実数	中学校教諭（家庭）		高等学校教諭（家庭）		栄養教諭		合計（延べ数）	
			専修	一種	専修	一種	専修	一種	専修	一種
生活創生学部 健康栄養学科	36	8	0	5	0	5	0	3	0	13
合計	36	8	0	5	0	5	0	3	0	13

※中・高一種（家庭）の取得者数は他学科履修での取得者1名を含む。

学科・専攻等名	卒業者の数	免許状取得者実数	小学校教諭		幼稚園教諭		合計（延べ数）	
			専修	一種	専修	一種	専修	一種
生活創生学部 こども発達学科	57	50	0	37	0	42	0	79
合計	57	50	0	37	0	42	0	79

【第5号関係】

卒業者の教員への就職の状況に関すること。

令和7年度 教員就職状況一覧

学科・専攻等名	採用の区分	中学校（家庭）			高等学校（家庭）			栄養教諭			合計		
		国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私
生活創生学部 健康栄養学科	正	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	他	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
合計	正	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	他	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0

※高等学校（家庭）の就職者数は他学科の1名。

学科・専攻等名	採用の区分	認定こども園			幼稚園			小学校			合計		
		国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私
生活創生学部 こども発達学科	正	0	1	3	0	0	2	0	24	0	0	25	5
	他	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	0
合計	正	0	1	3	0	0	2	0	24	0	0	25	5
	他	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	0

【第6号関係】

教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること。

本学では、今後のさらなる教職課程及び教員組織の充実を図り、教職課程の認定基準等に関する確認・点検等を行いながら適切に運営をしていく。本学は教職課程の履修者が多く、各教職課程委員会の教員については、教育実習の事前指導はもちろん、実習中に担当指導教員が巡回指導を行い、事後指導として報告会を行うなど、教育実習全般の運営を円滑かつ持続的な展開ができるよう努めていく。

本学では、実務家教員を数名配置しており、教職指導の一環として教員採用試験対策のプログラムも充実している。毎年、教員採用試験の合格率も高い水準を維持しているため、引き続き、教員と学生の信頼関係の構築と学生一人ひとりに対応した指導に努める。